

令和6年6月インタビュー実施

## 短

大で保育士資格を取得後、140名を超える規模の園に入社しましたが、一クラスの人数も多かったため、より一人一人を見ることができ環境で保育を行いたいと思うようになり転職を考えました。

転職活動を行っていた時に、紹介会社からはなさき保育園を紹介していただき、園のホームページを見て、手厚い保育ができると感じ、応募を決めました。はなさき保育園に入社したばかりのころは人数の違いに戸惑うこともありましたが、子どもたちと向き合える環境で保育ができています。例えば、子どもたちの様子にあわせて手作りの玩具を作っているのですが、以前は作っても遊んでいる様子をまじまじと見る余裕がありませんでした。今は、子どもたちが遊んでいる様子もしっかり見ることができているので、希望していた保育ができています。



午睡時の状態チェックは大切な仕事です



各クラスの活動の様子を写真付きで貼り出しています

## は

なさき保育園では、これまでに0歳・1歳・2歳クラスを担当し、今年リーダーに任命していただきフリーとして全体を見ています。リーダーに任命された時、「私で大丈夫かな」という思いもありましたが、これまでクラスを担当してきた経験を活かして、「私の時はこんな風にしてみたいよ」といったアドバイスをするようにしています。

担当が休みの時は、クラスに入って保育にあたるのですが、そんな時は「担当やりたいな」ということもあります。しかし、フリーだと色々なクラスに入り子どもたちの様子を見ることができるので、どちらもありがいを感じます。

## 令

和3年度からはなさき保育園では特別給食を月に1回提供する取り組みを行っています。私は、令和4年度から活動に参加しています。はじめは、見た目で子どもたちが喜んでくれるものという思いがありましたが、2年目からは見た目だけではなく演出も大切なのかなと思うようになり、凝った献立になるようになり、凝った献立になるとどうしても給食室の負担が増えてしまいますが、目の前でソースをかけてもらうなど普段行わないことをするだけでも子どもたちにとっては、とても特別なことなので楽しんでくれていきます。

2歳くらいになると話が分かるようになってくるので、「あと何回寝たら特別給食だよ!」と伝えると特別給食にまつわるごっこあそびが展開されて、保育につながっているなと感じています。

チームもぐもぐの担当ではない職員には、先にねらいを伝えるようにしたこと、それぞれのクラスの製作活動に取り入れてくれることもあり、徐々に活動が浸透してきているなと思います。

## 特別給食献立 立案チーム

### チームもぐもぐ

.....

子どもたちが食事を楽しめるよう、月に1度特別給食を立案しています。

各園から職員1名が参加し、アイデアを持ち寄り、給食会議で栄養士からの意見も取り入れながら献立を作成しています。

令和4年度のメンバーで活動の名称を考え、鈴木さんが提案した「チームもぐもぐ」に決まりました。